

平成28年度 佐久大学免許状更新講習一覧(選択領域)

領域・講習名	講習の概要	担当講師	会場	時間数	日程	受講対象者	受講料	定員
【選択】国際理解の進め方ー看護の国際協力を通して	日常生活の中で感じる国際化、各人の業務における情報のグローバル化、他国との国際交流の話を聞くにつけ、私たちは国際社会の中で日本人、国際人として生活する姿勢が求められています。幼、小、中、高校生がスムーズに他国籍の人を受け入れることができる態度、異文化をお互いに理解し、尊重しようとする考え方は、周りの大人の態度や環境に影響される場合が多いと思われます。国際理解の進め方について参加者の経験を共有し、討議し、学ぶ機会とします。	東田 吉子 (佐久大学看護学部教授)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年8月7日(日) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人
【選択】健康障害を持つ子どもと家族	①小児期に慢性的な疾患を抱えることは、その子どもの生活や成長発達に大きな影響を与えます。子どもたちがその健康障害を抱えながら学校や地域で生活するためには、周囲の人々の理解と支援が必要です。本講義では、こうした健康障害を抱える子どもや家族の特徴、現状について概説します。 ②子どもに多い不慮の事故、流行している感染症に対して予防と対策が重要です。本講義では子どもの救急時や症状のフィジカルアセスメント、救急処置、感染対策について理解を深めます。	鈴木 千衣 (佐久大学看護学部教授) 小林 睦 (佐久大学看護学部助教)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年8月8日(月) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人
【選択】強迫パーソナリティ・強迫性障害・睡眠障害	今日近代社会において、強迫パーソナリティが最も多い性格傾向ではないかと思われる。強迫性障害はその延長線上には無いようである。当講習では、強迫パーソナリティ・強迫性障害・強迫性に起因する睡眠障害に対する理解を深め、その特質と関係性を論じ、児童生徒や教師・保護者の皆様の学校生活を含む日常生活のQOL向上に役立つ事を目標とし、苦悶からの再出発・再成長を促す方法を考察する。	金高 茂昭 (信州短期大学部福祉学科教授)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年8月9日(火) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人
【選択】健康と生涯スポーツ	現代社会における高度産業化やグローバルな経済活動は、私達の日常生活において運動不足やストレスによる深刻な健康障害をもたらすことがあります。近年国際的な「生涯スポーツ」の潮流を受けて、学校体育やスポーツ教育の在り方が模索されています。そこでスポーツの親しみ方、運動の楽しさの観点から「スポーツ吹き矢の効果」「バドミントン競技の面白さ」「ラダー・ボールを使って身体づくり」「緊急時における救急措置の確認(AEDの使い方など)」を実践します。	片桐 学 (信州短期大学部福祉学科講師)	佐久大学 講義室・体育館	6時間	平成28年8月10日(水) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭(保健体育)	6,000円	50人
【選択】課題を抱える保護者との対話	子どもの生活や進路、子どもとの関係、子どもの理解などに悩みを抱えている保護者は多い。現代の教育者は、児童・生徒に対してのみならず、そのような保護者への支援も求められている。本講義では、社会福祉援助技術を援用し、演習を交えながら、保護者とのより前向きな対話法を模索していく。	宮内 克代 (埼玉学園大学人間学部准教授)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年9月4日(日) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人
【選択】ワールドカフェで考える性と生の共育	性教育、どうしていますか。近年、アクティブラーニング推奨の文脈から、「教育」から「共育」へのパラダイムシフトの必要性が指摘されています。性教育において、「共に育つ」とは何を意味するのでしょうか。本講習会では、若者の性行動に関する動向及び事例を踏まえ、助産師をファシリテーターとして、ワールドカフェ形式のワークショップを通じて、今、改めて「性／生の共育」について参加者の皆様と考えます。	清水 久美子 (佐久大学別科助産専攻教授) 上原 明子 (佐久大学別科助産専攻助教)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年9月17日(土) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人

平成28年度 佐久大学免許状更新講習一覧(選択領域)

領域・講習名	講習の概要	担当講師	会場	時間数	日程	受講対象者	受講料	定員
【選択】正しくパソコンを活用するには	情報活用能力とはパソコンなどの情報機器を「扱う能力」ではなく「活用する能力」である。しかし現状では前者の能力育成が偏重されているのではないだろうか。 本講座では授業におけるデータ収集、分析、プレゼン作成の指導場面を想定して、パソコンなどの情報機器をどのように活用すればよいのかという本来の「情報活用能力」を解説し、さらに「情報活用能力」育成の指導方略を解説する。	三池 克明 (信州短期大学部福祉学科助教)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年9月18日(日) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	40人
【選択】学校生活で起こりうる子どもの健康問題	学校生活では子どもの怪我や心停止のようなアクシデントへの対応、糖尿病や気管支喘息のような慢性病を持った子どもへの対応が必要となることがあります。本講義では、いざという時に心と体が働くための救急処置法について、また、慢性病と共に生きる子どもへの理解を深めるための講義と演習を行います。	松下 由美子 (佐久大学看護学部教授) 小山 智史 (佐久大学看護学部講師)	佐久大学 講義室	6時間	平成28年9月22日(木) 9:00~16:10	幼稚園・小学校教諭、 中・高等学校教諭、養護教諭	6,000円	100人